

看護部通信 ～第3病棟の取り組み～

当病棟は、60床を有する回復期リハビリテーション病棟です。
『その人らしく生活できる』を目標に掲げ、多職種がチームとなりより良いチーム医療を提供できるよう取り組んでいます。

【第3病棟担当職員】 2024.10.1 現在
医師 5名
看護職員 27名・補助者 6名
（回復期リハビリテーション看護師 3名）
理学療法士 17名
作業療法士 13名
（回復期セラピストマネージャー 1名）
言語聴覚士 4名
社会福祉士 2名
薬剤師 1名
栄養士 1名
病棟事務 1名



多職種カンファレンスでチーム力強化

患者さんの“その人らしさ”を引き出し、能力を最大限に活かすために、多職種によるさまざまな視点が必要です。多くの視点から、その人にあったアプローチ方法を見つけ出し、統一したケアにつなげています。ケアの質の向上、医療者間のコミュニケーション強化のためにも、多職種カンファレンスは重要です。

当病棟で行われている多職種カンファレンス

- ◇ 合同評価（日常生活動作の評価、補助具の選定、ベッド周りの環境調整） **Ns・PT・OT**
- ◇ 栄養カンファレンス（栄養状態を評価、改善に向けたアプローチ） **Dr・Ns・栄養士・薬剤師**
- ◇ 退院支援カンファレンス（退院後の生活を見据え必要な支援を検討） **MSW・Ns**
- ◇ 患者カンファレンス **Dr・Ns・PT・OT・ST・MSW・栄養士**
（各職種の担当により現在の状態、リハビリの経過、目標を共有）
- ◇ 家族カンファレンス **ご家族・Dr・Ns・PT・OT・ST・MSW**
（入院中の心身の状態やリハビリの経過をご家族へ伝え、今後の生活や退院時期について話し合う）
- ◇ 認知症カンファレンス **Dr・Ns・PT・OT・認知症認定Ns**
（不安や混乱なく安心して過ごせるよう対応や環境、薬剤について検討 拘束の最小化への取り組み）
- ◇ NSTラウンド **Dr・Ns・ST・PT・OT・栄養士・摂食嚥下認定Ns**
（経口摂取への取り組み、食事の形態や食べる姿勢・食べ方などより安全に食べる支援）
- ◇ ドクターカンファレンス（各職種のリーダーと主治医とリハビリの進捗状況を確認）
- ◇ 管理者会議（各職種のリーダーにより、患者1人一人のリハビリの進行状況や退院支援状況を
確認し共有、困難事例のアプローチ方法を検討）
- ◇ 情報交換（毎日、朝・夕 多職種が病棟ステーションに集合 連絡や伝達・評価を共有）